

# 錦江町地区公民館連絡協議会だより

## 神川地区公民館の活動紹介

神川地区公民館は、神川地区の振興のために各専門部・各自治会・関係機関の協力を得て活動をしています。本年度は特に「集落営農」に重点を置き、先進地視察や研修会を重ねてきました。また、年間を通して多くの行事を開催しています。直近では県下一周駅伝大会に伴うサポートを行う予定です。今回は、公民館を挙げて取り組む二つの行事について紹介します。

まず、八月五日に行われた夏祭りです。文化部を中心に実行委員会を立ち上げ、多方面からの御協力や御支援を得て開催しました。当日は、神川学習センター体育館を会場として地区内外から多数の参加者がありました。プログラムは、神川小児童の合唱に始まり演劇・歌・踊り・早飲み・ダンスなど十四回に及びました。祭りの最後には抽選会が開かれ豪華な賞品に一喜一憂する姿が多く見られました。地区民老若男

女よいふれあいの機会となりました。次は、ソバ&グラウンドゴルフ大会です。本年度は二月二十六日に神川学習センターで実施するよう計画されています。これは、産業部を中心にソバ打ちを、体育部を中心にグラウンドゴルフ大会を行うものです。ソバはソバ粉から全て手作りです。産業部がソバ作りをしている間、体育部はグラウンドゴルフ大会を開催します。昨年度は、幼稚園生から高齢者まで七十余名が参加し、たいへん

ぎやかでした。グラウンドゴルフの終わった人から、できたてのソバとおにぎりや昼食をとります。手作りならではのソバは絶品です。昼食が終わった後、参加者全員が体育館に集まり表彰式と抽選会を行います。これらの行事は、前年度の反省をもとに、役員や専門部で協議を重ね改善を加えながら実施しています。本年度実施の行事では、抽選会を加え、参加者が誰でも皆楽しめる様に企画してきました。これからも、地区民が楽しく交

流し、様々な意見を交わしながら、神川地区がさらに活性化し発展するよう活動を進めていきます。



みんなでソバ作り

## 大原地区公民館の活動紹介

大原地区公民館の活動を紹介しますと、地区のシンボルでもある「もみじ」の管理作業や薬剤塗布(五〜十一月)、植栽・肥料散布(二月)です。シンボルでもある「もみじ」を絶やすことのないように魅力ある地区になるよう手を取り、汗をかき頑張っています。

地区内には小学校があり、学校との連携は不可欠で、地区の行事と学校行事と連絡調整し、児童生徒には、青少年育成の日

11月から数回に渡り、錦江町地区公民館活動を地区別に紹介します。  
今月は(神川地区・大原地区)です。

の活動や、伝統行事への積極的な参加を呼び掛けています。

季節柄、一月二十九日(日)に鬼火たきを実施し、二月十二日(日)にはもみじ植栽・肥料散布を計画しています。地区民はもとより、NPO法人との連携や青少年育成部、緑の少年団とも協力し、住みよい大原地区の建設を今後も推進したいと思っています。

また、大原地区公民館は、平成二十一年度から鹿児島県の「集落の維持存続に対する政策推進モデル事業のモデル地区」に選定され、地区の現状・課題把握を行うため聞き取り・アンケート調査を行い、集落維持のための課題解決の方策などについて話し合いを行ってきました。

二十二年度からは地区計画に基づき、地区住民・町が中心となりNPO法人などと連携、地区の行事にボランティア団体等が参加し、もみじ下刈り、鬼火たき等地区外の方々との交流や集落維持、集落の活性化のために課題解決に向けた取り組みを行っています。

今年度は、自治会統合(合併)のアンケート調査を十五歳以上の全地区民を対象に行い、取りまとめを行いました。今後どのように進めるか、協議会や検討会、準備委員会等の発足も含めて、自治会長会や役員会等で協議していきたいと思っています。

今後も地区民が一体となつて、地区公民館を盛り上げることができたらと思います。



もみじの下刈り



大原地区の鬼火たき